

第 51 回冷凍技士研修会 「熱源機の低 GWP 化の必要性和 地球温暖化防止のための更なる取り組み」

主 催： 公益社団法人日本冷凍空調学会 冷凍技士運営委員会
日 時： 2021年9月9日（木） 14：00～15：00
場 所： Web 開催（Zoom 使用）

今地球では、フロン類による地球環境への影響が明らかになっており、オゾン層破壊、地球温暖化問題について、安全性、環境性、性能、経済性、サービス性の観点から、低 GWP 化の必要性が求められている。今回の研修会では、東芝キャリア株式会社にご協力頂き、熱源機の低 GWP 化の必要性和、地球温暖化防止のための更なる取り組みとして、低 GWP 化を実現した要素技術の紹介の他、IoT クラウド技術による新付加価値サービスについてもご紹介いただきます。冷凍技士として、本問題にご興味を持たれている技士の皆様のふるってのご参加をお待ちしています。

-
1. 冷媒の基本特性と低 GWP 化の必要性
 2. 低 GWP 化を実現した要素技術と製品
 3. 地球温暖化防止のための更なる取り組み
 - ・ 負荷側協調性の更なる向上による運転安定化
 - ・ IoT クラウド技術による新付加価値サービス
 - ・ 保守管理の利便性向上

<開催結果概要>

講 師： 東芝キャリア(株) 営業技術部 熱源機技術担当
スペシャリスト 鈴木 弘隆 様

参加人数： 8名

結果概要： 本問題の背景から最新情報も含めて、丁寧に解説して頂きました。最新の低 GWP 冷媒熱源機器の性能・導入メリットについて理解することができ、温暖化対策のためには冷媒の低 GWP 化だけでなく、「負荷側協調性向上による運転安定化」や「IoT クラウド技術を活用した付加価値提供」、「保守管理の利便性向上」も重要であることが理解できました。さらに、新ガイドライン GL-17 により、一定のフロン類常時監視システム導入で簡易点検が免除となるなど、業界全体として IT システムを活用した効率化も進展していることが理解できました。

(東京電力エナジーパートナー(株) 佐々木正信)